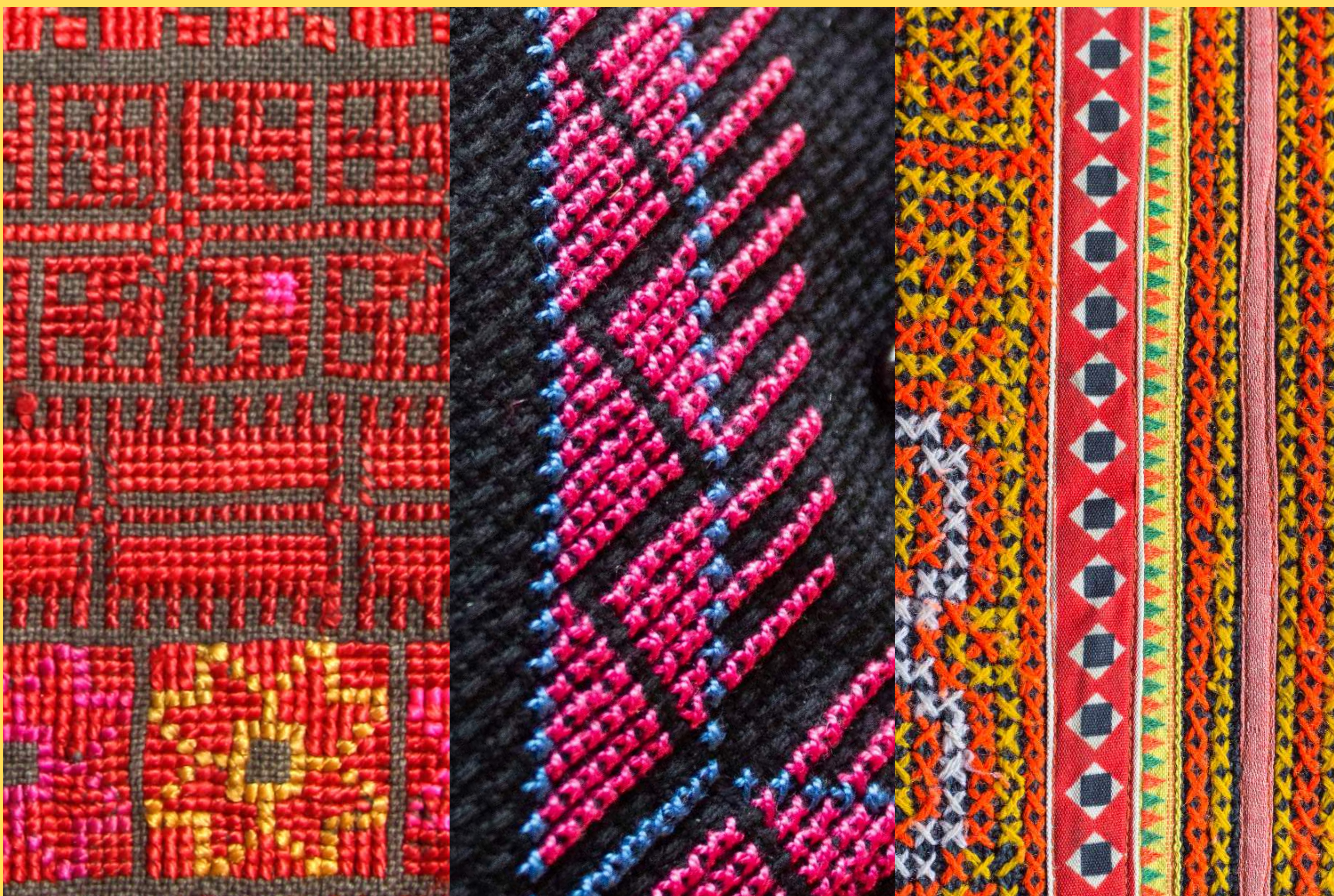


関西学院大学 キリスト教と文化研究センター(RCC)

研究プロジェクト「クリスチャン・シオニズムに関する思想史的研究」主催
エキュメニカル・ネットワーク協力

公開シンポジウム

「分断の時代のエキュメニズムの課題」



2026
10.2

FRI

17:00

@

関西学院大学
大阪梅田キャンパス
14F 1406教室

Zoom併用

登壇者

塚田 重太郎

日本聖公会 聖マーガレット教会牧師

橋本 祐樹

関西学院大学神学部准教授

原田 雅樹

関西学院大学文学部教授

大宮 有博

関西学院大学法学部教授・宗教主事

司会

神田 健次

関西学院大学名誉教授

世界各地でナショナリズムや排外主義が勢いを増し、社会の分断は深刻さを増しています。キリスト教会も例外ではなく、とりわけキリスト教シオニズムの影響はアメリカからアジア・アフリカへと広がり、平和をつくり出すキリスト者の働きに大きな影響を及ぼしています。

今回のシンポジウムでは、エキュメニカル・ネットワーク主催の9月の連続セミナーで講演した研究者・牧師が再び集まり、「分断の時代」にキリスト者がどのように平和と正義を追求できるのかを共に考えます。キリスト教シオニズム、排外主義、ナショナリズムの台頭に対して、教会は何を語り、どのように応答できるのか——多角的な視点から議論を深めます。

分断を越えて歩むためのヒントを求めるすべての方に開かれた対話の機会として、ぜひご参加ください。



お申込みは
こちらから→

参加対象：本学教職員、本学学生、一般

お問い合わせ：

関西学院大学 キリスト教と文化研究センター (RCC)

TEL.0798-54-6019